

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア I 講座・准教授
氏名 Name	林 初梅
専門分野 Academic Field	言語社会学、近現代台湾研究

平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	戦後台湾における国民党の対日政策と集合的記憶の社会的構成に関する研究				
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>本研究は、1945 年以降の台湾の中華民国体制への移行に伴う国民党政府による「日本」の戦後処理の問題を再考するものであり、同時に今日の台湾における日本時代の記憶を再生産させるメカニズムの解明を目指すものでもある。日本時代の記憶は、日本時代から伝えられたものばかりでなく、戦後の国民党の対日政策との関わりの中で社会的に構成されてきた。すなわち日本統治時代の経験そのものに依存しているのではなく、日本的要素の容認と排除というアンビバレントな戦後政策を背景に常に更新され、相対化され続けてきた側面も持っている。本研究は、国民党の対日政策を解明するとともに、様々な文化的装置としての「日本」が、戦後台湾における「中国」と「台湾」の相克の中でどのような姿、機能、意味合いを持ってきたのかを探る。またその集合的記憶が、1980 年代後半に始まった民主化の過程でどのように社会的に再構成され、台湾社会へと浸透してきたかをも考えてみたい。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	地域研究関連	戦後台湾			
キーワード Keywords*2	台湾	対日政策	集合的記憶	戦後	日本統治時代